

第2学年2組 体育科（器械・器具を使つての運動遊び）学習指導案

指導者 西尾 友希

1 単元名 器械・器具を使つての運動遊び（跳び箱を使った運動遊び） 「とんで とんで トントーン！」

2 目標

- きまりを守り仲よく運動をしたり、場の安全に気を付けたりして進んで運動に取り組もうとする。 (関心・意欲・態度)
- 跳び箱を使った運動遊びの行い方を知り、友達のよい動きに気付くことができるようにする。 (思考・判断)
- 基本的な支持跳び越し系の技につながる動きができるようにする。 (運動の技能)

3 指導に当たって（男子15名、女子18名、計33名）

跳び箱を使った運動遊びは、跳び箱を使って「跳び上がる、跳び下りる、跳び越す、またぎ乗る、またぎ下りる、またぎ越す」などの動きを工夫しながら楽しむ運動である。そして「できる」「できない」がはっきりとしているので、跳べた時の達成感や跳べそうだという喜びを味わうことができる運動でもある。

高学年では、踏み切りが確実にできるようになると習得できる技が増え、児童の自信につながっていく。中学年では、跳び越す楽しみが優先し、踏み切りや着手への意識が弱くなり、危険を伴う跳び方をすることが多々ある。そこで、低学年の段階では、両足できちんと踏み切ることを身に付けられるよう指導したいと考え、今回取り組んだ。本学級の児童は、体育への意欲は非常に高く、体を動かすことや新しい事に挑戦することが好きである。跳び箱を使った運動遊びは、またぎ越せる児童は好きと答えたが、できない児童は苦手と答えている。

そこで本単元では、跳び箱運動のアナログン（基礎感覚を高める運動遊び）として踏み切り感覚、腕支持感覚、逆さ感覚をはぐくめる体の動かし方をパワーアップタイムに取り入れていく。準備運動として器械運動独特の体の幹となる部分の動かし方がある「ねこちゃん体操」を行う。また、跳び箱の様々な跳び越し方を児童自ら工夫したり、個人差のためにスモールステップの場を設定したりして、楽しい・できるという気持ちを大事にしていきたい。そして、友達と一緒に運動する中で、励まし合い、共に伸びようとする気持ちを育みたい。

4 単元の評価規準

| | 関心・意欲・態度 | 思考・判断 | 運動の技能 |
|---|---|--|---|
| 学具 習体 活の 動評 に価 お規 け準 る | ①練習に <u>進んで</u> 取り組もうとする。 ◎粘り強く、繰り返し ②順番やきまりを◎ <u>常に</u> 守り、 友達と仲良く運動をする。 ③場の安全に気を付け、準備や 後片付けを◎ <u>進んで</u> 行おうと する。 | ①跳び箱を使った◎ <u>様々な</u> 運 動遊びの方法を知っている。 ②動き方を知り、 <u>友達のよい</u> <u>動き</u> を見付けている。 ◎ <u>動きのこつ</u> | ①両足踏み切りで腕支持を 使ったまたぎ乗りやまた ぎ下り、またぎ越しが◎ <u>大きな動作</u> でできる。 ②◎ <u>一連の動作をスムーズ</u> <u>に</u> 支持で跳び乗りや跳び 下り、跳び越しができる。 |

◎は十分満足できる状況

5 指導と評価計画（9時間扱い）

| | 学習のねらい・活動 | 評価計画 | | |
|-----|---|--------|---|---|
| | | 関 | 思 | 技 |
| はじめ | <p>オリエンテーション</p> <p>○運動の特性や学習のねらい，計画・内容を理解する。 ○跳び箱を使った運動遊びの学習準備をする。</p> <p>1 学習のねらいと道筋を理解し，学習の進め方について知る。 ・学習の流れや1単位時間の学習の進め方 ・学習カードの使い方及び資料の活用の仕方 ・課題解決や協力の仕方</p> <p>2 用具の使い方と安全面の配慮の仕方を知る。</p> <p>3 できる技を確認する。</p> <p>4 グループと役割分担をする。</p> <p>5 パワーアップタイムの運動の方法と目的を知る。</p> | | | |
| なか | <p>ねらい①</p> <p>○跳び箱を使ったいろいろな動きを楽しむ。</p> <p>1 場の準備をし，準備運動をする。</p> <p>2 パワーアップタイムの運動と既習事項を練習する。 パワーアップタイムと馬跳び</p> <p>3 学習の課題を確認し，練習する。【異質グループ】 ①またぎ乗り，またぎ下り ②跳び乗り，跳び下り ③またぎ越し ④シンクロ跳び下り，クロス跳び越し</p> <p>4 今できる技を練習する。【等質グループ】</p> <p>5 整理運動をする。</p> <p>6 本時のまとめをする。</p> <p>7 後片付けをする。</p> | ① ③ | ① | ① |
| なか | <p>ねらい②</p> <p>○身に付けた技能を生かし，発表会を組み立てる。</p> <p>1 場の準備をし，準備運動をする。</p> <p>2 パワーアップタイムの運動と既習事項を練習する。 パワーアップタイムと馬跳び</p> <p>3 学習の課題を確認し，練習する。【等質グループ】</p> <p>4 グループ演技の構成を考える。【異質グループ】</p> <p>5 整理運動をする。</p> <p>6 本時のまとめをする。</p> <p>7 後片付けをする。</p> | | ② | ② |
| まとめ | <p>○学習のまとめ発表会を行う。</p> <p>1 場の準備をし，準備運動をする。</p> <p>2 パワーアップタイムの運動をする。</p> <p>3 学習のねらいを確認する。</p> <p>4 発表する演技を練習する。</p> <p>5 発表会をする。</p> <p>6 整理運動をする。</p> <p>7 単元のまとめをする。</p> | ③ | | |

6 本時の学習

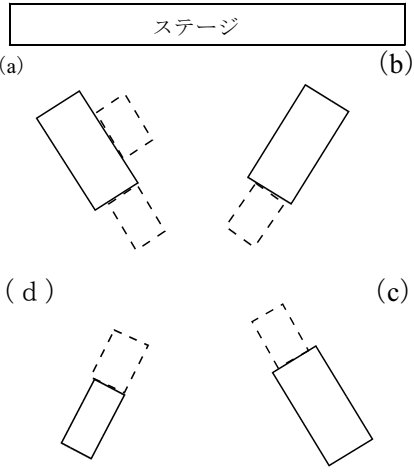
(1) 本時のねらい

- 友達と教え合ったり、はげまし合ったりしながら協力して運動に取り組もうとする。(関心・意欲・態度)
- またぎ越しを行うための動きに気付くことができる。(思考・判断)
- 両足踏み切りでまたぎ越しができる。(運動の技能)

(2) 展開 (6/9)

㊦:わかるための手だて, ㊧:できるための手だて, ㊨:かかわるための手だて

| | 学習内容・活動 | 指導上の留意点 | 評価の観点・方法 |
|-------------------------------|---|--|---|
| はじめ 10分 | 1 整列・あいさつをする。 | ・元気よくあいさつし、学習の意欲を高める。 | |
| | 2 準備運動とパワーアップタイムの運動をする。 ・ねこちゃん体操 (準備運動) ↓ ・うさぎ跳び (逆さ感覚) ・ケンステップ (踏み切り感覚) ・肋木ふわっと下り (高さ感覚) ・くま歩き (腕支持感覚) ・跳び箱ジャンプ (踏み切り感覚) ↓ ・馬跳びチャレンジ (腕支持感覚) 2人1組で20秒間チャレンジする。 | ・主運動につながる基礎感覚を高める運動をゲーム的要素を取り入れながら楽しい雰囲気の中で活動できるようにしたい。 ・互いの動きに注意し、安全に動けるよう声をかける。 ◇支援が必要な児童には、補助員が側につき励ましながらか学習ができるようにする。 ・自分の記録が更新できるよう、目標を決め取り組めるようにする。 | |
| | 3 本時の学習課題を確認する。 | ・本時の学習内容を説明する。 | |
| ○とびばご名人になるためのこつを見つけよう。 | | | |
| なか 25分 | 4 模範演技を通して、跳び越しができるためのこつに気付く。 予想される児童の反応 A: 踏み切りは両足だった B: 手は遠くに着いていた C: 姿勢はまっすぐだった D: 最後はとまっていた | ・GTの演技を見て動きのこつが意識できるようにする。 ㊦ 跳び越しをするためには、踏み切り・着手・着地にこつがあることに気付かせる。 | 〈思考・判断②〉 ・動き方を知り、友達のよい動きを見付けている。 (学習時の観察) |
| | 5 グループで実際に動きのこつを生かし、跳び越しをする。 【異質グループ】 | ・グループでは、お互いの動きを意識して見合うために、踏み切り・着手・着地の3つの場に分かれる。 ・分かれた場での見合い・教え合いは、それぞれのグループで工夫して行えるようにする。 | |

| | | | |
|--------------------|--|--|--|
| | <p>6 自分の練習場所を選択し、グループで練習する。 【等質グループ】</p> <p>a. 跳び箱 3 段 b. 跳び箱 3 段 c. 跳び箱 4 段 d. 低学年用跳び箱 4 段</p>  | <p>㊦ 動きのこつを教えたり，励まし合ったりしながら練習に取り組むようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・跳び越しができている児童には、調節器や段数を変え、大きな跳び越しに取り組んでみるよう助言をする。 ・GT は、跳び越しの技能が十分でない児童の補助をし、技についての助言をする。 <p>◇苦手な児童には、踏み切り・着手・着地を「トン トン トーン」のリズムに合わせてできるように声をかける。</p> <p>㊧ 等質グループで練習を行わせることで、個に応じた課題を達成できるようにする。</p> | <p>〈関心・意欲・態度②〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・順番やきまりを守り友達と仲良く運動をする。 (学習時の観察) <p>〈運動の技能②〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支持で跳び乗りや跳び下り，跳び越しができる。 (学習時の観察・カードの記述) |
| <p>まとめ 10分</p> | <p>7 学習活動の反省と次時の課題を確認する。</p> <p>8 後片付けをする。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・児童の健康観察を行う。 ・良い点を認め合うことで次時への意欲につなげたい。 ・協力して安全に行う。 | |

◇は努力を要する状況にある児童への手だて